多摩信用金庫

たましんレポート2018 第85期 業務のご報告［2017/4/1 ― 2018/3/31］

TAMASHIN REPORT 2018

立川駅南口

お客さまとともに「ふるさと多摩」の未来へ

ファーレ立川アート

立川駅北口

表紙：ふるさと多摩／立川市

① 立川駅南口
② ファーレ立川アート
③ 立川駅北口
【写真提供】立川市

ふるさと多摩〈立川市長　清水　庄平〉

～にぎわいとやすらぎの交流都市をめざして～

立川市は、1963年に旧立川市と旧砂川町が合併して今の姿になりました。市の南部には多摩川、中央部には残堀川、北部には玉川上水が流れています。この水と緑が、市民に憩いとやすらぎ、そして農産物への恵みを与えています。また、東西に五日市街道が走り、JR中央線、南武線、青梅線、五日市線のほか西武拝島線、多摩都市モノレールが市内を縦横に走る交通の結節点として発展しています。JR立川駅の1日あたりの乗車人数は16万人を超え、多摩地区最大の賑わいと交流の場となっています。今後、みどり地区に2,500人規模のホールなどが誕生するとともに多摩信用金庫の本店と併設して美術館が建設されます。新たなにぎわいと交流が生まれてくることを期待しています。

目 次

理事長からのごあいさつ ―― 2
地域金融機関としての役割 ―― 3
たましんの取り組み
〈企業・事業者への支援〉 ―― 5
〈個人の皆さまへのお手伝い〉 ―― 7
〈地域社会への取り組み〉 ―― 9
業績ハイライト
〈貸出金・事業所融資先数・貸出金業種別内訳〉 ―― 11
〈預金積金・年金振込・預かり資産〉 ―― 12
〈損益〉 ―― 13
〈自己資本比率〉 ―― 14
〈不良債権〉 ―― 15
〈有価証券・外国為替〉 ―― 16
貸借対照表 ―― 17
損益計算書・剰余金処分 ―― 18
たましんのコンプライアンスの考え方 ―― 19
たましんプロフィール・役員一覧・連結される子会社 ―― 21
店舗ネットワーク ―― 22

経営理念

たましんは、
お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、
お客さまの幸せづくり

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として協同組織による地域金融機関たる精神に徹し、
1.役職員一致の体制を整え
2.信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3.業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめ
以て地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

企業倫理

1.社会的公器の自覚と信頼の確立
たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立していきます。

2.お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献
たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献していきます。

3.法令やルールの厳格な遵守
たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行っていきます。

4.反社会的勢力の排除
たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除していきます。

5.経営情報の公開と地域社会との調和
たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図っていきます。

3月末時点の計数については「○年3月末」、期間中の計数については「○年度」として項目表示しています。また、財務諸表においては、決算期数にて表示し、時点・期間を併記しています。

理事長からのごあいさつ

多摩の未来を見据えて
価値創造を最大化

いつも**たましん**をご愛顧いただきまして、
誠にありがとうございます。
2017年度の活動をご報告する
「たましんレポート2018」をお届けいたします。
1年間の**たましん**の取り組みとその結果をご覧いただき、
ご理解を一層深めていただくとともに、
率直なご意見をお寄せいただきたいと思います。
皆さまの声に常に耳を傾け、今後の経営に活かしてまいります。

理事長　八木 敏郎

2017年度の経済環境

日本経済は、個人消費と設備投資を中心とした「内需」と、世界的な景気回復を背景として堅調に推移する輸出などの「外需」のバランスの取れた景気回復が続きました。多摩地域の景気については、おおむね横ばいが続いているものの、有効求人倍率や給与が緩やかな上昇傾向にあるなど明るい材料が出ており、少しずつ回復に向かっています。

価値創造の最大化に向けて

たましんは、多摩の明るい未来の実現に向けて、長期的視点に立ち、お客さまにどのような支援ができるのか、地域に貢献できるのかを常に考え、前向きに取り組んでいます。

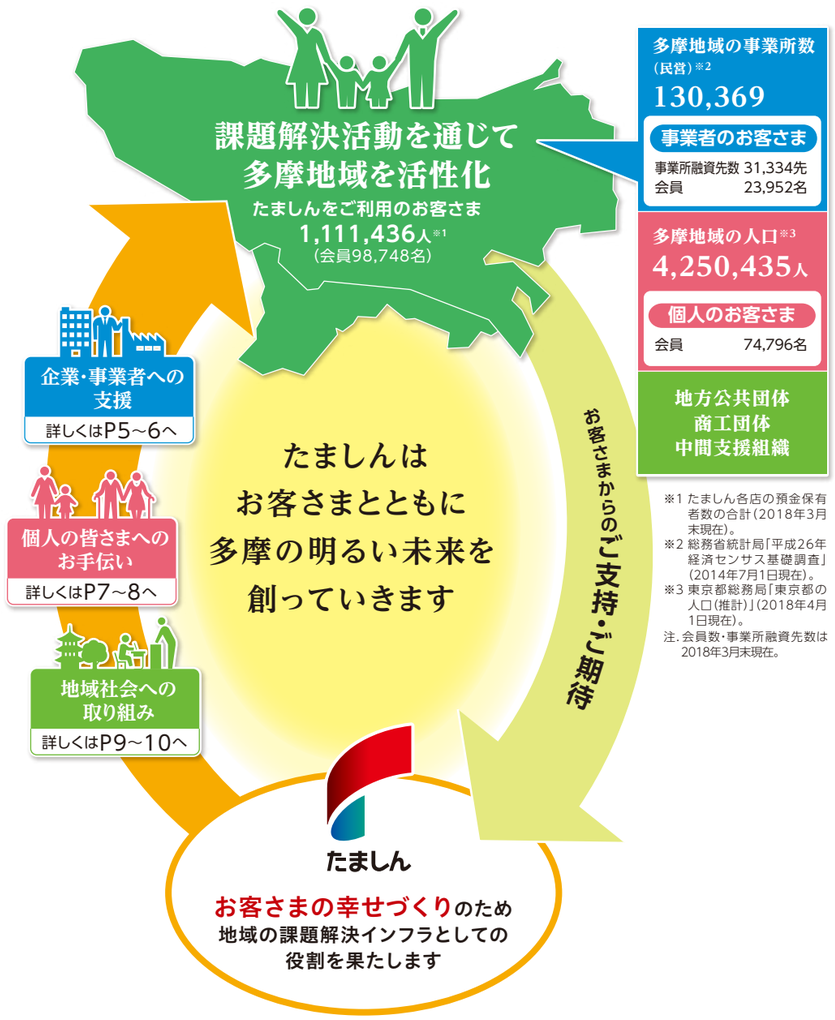
2017年度は、企業・事業者のお客さまへの支援として、事業における財務面の支援策となる融資商品ラインナップを更に充実させたほか、個人のお客さまへのお手伝いとして、傷害総合保険「ケガにそなえる『RISURUのお守り』」、「多摩信用金庫アプリ」の取扱いを開始しました。また、2017年9月に町田支店をオープンしたことにより、多摩地域の有人店舗は79店舗・4出張所となりました。

業績については、皆さまのご支持により、預金、貸出金残高は増加したものの、マイナス金利政策の継続による金融環境の影響等から貸出金利回りが低下し、収益は減少傾向にあります。引き続き、厳しい金融環境ですが、今後も経営理念の実現のため、お客さまの抱える課題に真摯に取り組んでまいります。

2018年度は3ヵ年計画である「中期経営計画2020」の初年度となります。多摩の明るい未来の実現に向けて、役職員一丸となってお客さまの抱える課題の解決に徹底的に取り組み、価値創造の最大化に取り組んでまいります。

現在、新本店・本部棟の2020年新築移転に向けて準備を進めており、多摩地域の新たなランドマークとして情報発信基地の役割や課題解決インフラとしての機能強化を図ってまいります。新本店・本部棟では、地域貢献のために美術館等を併設するとともに、お客さまの情報・資産を守るためのセキュリティー向上や災害対策等のBCP（事業継続計画）の充実を図ってまいります。

会員の皆さまをはじめ、地域のお客さまにおかれましては、今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



多摩地域の事業所数
（民営）※2
130,369

事業者のお客さま
事業所融資先数 31,334先
会員 23,952名

多摩地域の人口※3
4,250,435人

個人のお客さま
会員 74,796名

**地方公共団体
商工団体
中間支援組織**

※1 たましん各店の預金保有者数の合計（2018年3月末現在）。
※2 総務省統計局「平成26年経済センサス基礎調査」（2014年7月1日現在）。
※3 東京都総務局「東京都の人口（推計）」（2018年4月1日現在）。
注. 会員数・事業所融資先数は2018年3月末現在。

多摩地域の持続的な　繁栄・発展とくらしの安定を創造します。

課題解決サポートネットワーク

■たましんとともにお客さまの課題解決をサポートする子会社

- たましんビジネスサービス株式会社
- たましんリース株式会社
- 多摩保証株式会社

■お客さまの事業や地域経済のさらなる繁栄、文化の向上に幅広く取り組んでいます

たましん法人総合サービスBOB

多摩地域で事業を営む事業所を対象とした会員組織です。経営者・従業員向けのセミナーや交流会、ビジネスマッチングなど、さまざまなサービスをご用意しており、企業単独では難しい課題解決を全面的にサポートします。

多摩らいふ倶楽部

多摩地域で暮らす方に、充実した毎日をお送りいただくお手伝いを行う会員組織です。「安心したい」「学びたい」「働きたい」「楽しみたい」をテーマとしたイベントやセミナーの企画協力、地域情報誌『たまら・び』のお届けなどを行っています。

地域経済研究所

地域の発展に役立てるため、多摩地域の社会・経済・産業に関する調査分析を行い、広く発信しています。また、中小企業の景況調査を実施し、その結果を情報誌『多摩けいざい』に掲載しています。

**公益財団法人
たましん地域文化財団**

多摩の芸術家支援や地域の歴史・文化関係の資料の保存・公開を行う、たましんの文化活動拠点です。『たましん歴史・美術館』『御岳美術館』『たましんギャラリー』の運営や季刊誌『多摩のあゆみ』などを刊行しています。

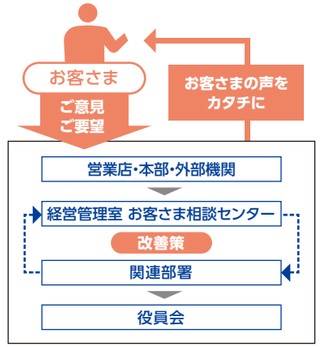
お客さまの声を活かすしくみ

■お客さまの声を活かすしくみ

たましんにとって、店舗の窓口やお客さま担当者が日々いただく「お客さまの声」こそが活動指針です。お客さまに、よりご満足いただける金融機関を目指して、「お客さまの声」を業務の充実やサービスの向上に役立てています。

■たましんにお寄せいただいた声について

2017年度、たましんに「お客さまの声」としていただいたご意見・ご要望等は3,684件でした。全体の内訳としては、ご要望が39.2%、ご意見が33.7%、その他（お褒めの言葉やご相談等）が27.1%となっています。



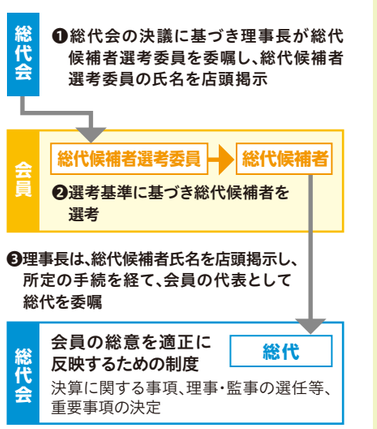
営業店・本部・外部機関でお受けしたお客さまの声を経営管理室　お客さま相談センターが関係部署と協議し、問題点の解決に努めています。

■総代会のしくみ

総代会は会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。すなわち会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて経営に参加することとなります。しかし、たましんは、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。また、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、様々な経営改善に取り組んでいます。



お客さまのビジネスをあらゆる局面　でサポートします。

創業期

経営の基礎知識を取得できる創業塾

01. 創業塾、創業セミナー、創業者交流会

多摩地域での創業を応援する取り組みとして、創業塾、セミナー、交流会を自治体と連携して実施しました。創業塾では、専門的な知識を学べるだけでなく、受講生同士の繋がりの場ともなっています。セミナーでは、年代別の消費者動向や女性起業家から学ぶなど、様々なテーマに沿った講演を行いました。

02. ものづくり創業の推進

機材を動かしながら試作品をつくる利用者

東京都の「多摩ものづくり型創業支援施設整備補助事業」を活用した、fabbit八王子(八王子市)、Tschool(立川市)が開設されました。それぞれの施設と連携した取り組みとして、利用者の方を対象とした個別相談や補助金説明会等を実施しました。

成長期

パレスホテル立川で行われた表彰式

01. 多摩ブルー・グリーン賞

第15回を迎えた多摩ブルー・グリーン賞に153件のご応募をいただきました。最優秀賞には株式会社不二WPC(多摩ブルー賞)、医療法人社団大日会 太陽こども病院(多摩グリーン賞)、ほか優秀賞7件、奨励賞10件及び特別賞2件を決定し、12月13日に表彰式を行いました。

02. ものづくり補助金申請支援

経済産業省による「平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の説明会を多摩地域の自治体や商工団体と連携して開催しました。

説明会を通して、フォロー対応も実施

承継期

フィールドワークの様子

01. 後継者育成支援の取り組み

次世代ビジネスリーダーを育成する経営者塾「TAMA NEXTリーダープログラム〈10期生〉」を明星大学と連携して開講しました。

また、農業者版の後継者育成塾「TAMA NEXTファーマーズプログラム〈5期生〉」を首都大学東京・日本政策金融公庫・JR東日本八王子支社と連携して開講しました。約半年間のプログラムを経て、地域の後継者のネットワークの強化に繋げていただきました。

熱心に耳を傾ける参加者

02. 事業承継サロン・事業承継セミナー

身近な事例から事業承継をイメージしていただくことを目的として、事業承継を終えた先代社長や後継者の体験談をトークセッション方式で聞く「事業承継サロン」を3回開催しました。また、実際に事業承継を進めていく際に直面する課題と、その解決方法を専門家が解説する「事業承継セミナー」を7回開催しました。

事業サポート

Winシリーズでお客さまの財務課題を解決

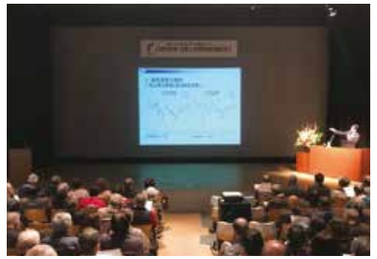
01. 課題解決取組融資「Winシリーズ」取扱開始

従来からの商品を改定し、たましん課題解決取組融資「Winシリーズ」の取扱いを開始しました。事業における財務面の支援策となる融資商品ラインナップをさらに充実させ、企業・事業者のライフサイクルに沿った課題解決支援に今まで以上に取り組みます。

安心で豊かなくらしのお手伝いを　します。

くらしの相談

01. すまいるプラザ


2018年 日米と世界の経済展望
アベノミクス・トランプノミクスの行方

「すまいるプラザ」は、個人のお客さまのライフプラン全般にわたり、じっくりご相談いただけるコンサルティング専門店舗です。現在、多摩地域に8店舗を展開し、平日夜7時まで、土・日曜（一部店舗は祝日）も営業をしています。
2018年2月に、株式会社第一生命経済研究所　首席エコノミスト　永濱利廣氏を講師にお招きし、「すまいる新春セミナー」を開催しました。米国を中心とする世界経済の動向や、トランプノミクスの行方、日本経済への影響などを講演いただきました。

02. 相続あんしん館

9拠点に拡大し、さらに身近に

相続・贈与・遺言などについて気軽にご相談いただける窓口「相続あんしん館」をすべてのすまいるプラザに併設し、9拠点となりました。すまいるプラザ併設の8拠点については、土・日曜（一部店舗は祝日）もご相談を承ります。
オープンを記念し、税理士法人　弓家田・富山事務所　代表社員税理士　弓家田良彦氏によるセミナー『相続専門税理士に学ぶ「相続」を「争族」にしないコツと相続対策～2018年の相続税改正はどうなる?～』を2会場で開催しました。127名のお客さまにご参加いただきました。

安心サポート

01. 充実のラインナップ

教育、マイカー、リフォーム、ブライダル、出産・子育て、医療、介護など幅広い用途でご利用いただける「たましんライフサポートローン」、お客さまの「住宅」の夢を叶える「しあわせ物語 たましんライフサポート住宅ローン」の取扱いを開始しました。お客さまのライフステージに合わせた支援を行っていきます。

02. ケガの「そなえ」と「あんしん」の提供

毎日の「あんしん」のためにそなえる保険

「自転車事故によるケガ」や「日常生活におけるケガ」への「そなえ」のため、2018年1月より、傷害総合保険「ケガにそなえる『RISURUのお守り』」の取扱いを開始しました。
くらしにおける様々なケガのリスクに対して、お客さまのニーズに合わせた「あんしん」のご提供を行っていきます。

03 多摩信用金庫アプリ

もっと身近に!
多摩信用金庫アプリ

お手持ちのスマートフォンで預金残高や取引明細が確認でき、入出金をプッシュ通知でお知らせする「多摩信用金庫アプリ」がダウンロードいただけるようになりました。たましんのキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまであれば、アプリをご利用いただけます。

くらしの充実

沖縄の青い海で記念撮影

01. たましんトラベルサークル

たましんトラベルサークル「南の楽園 沖縄3日間」には、606名のお客さまにご参加いただきました。また、「『陽明門』竣工記念!“世界遺産”日光東照宮と小江戸とちぎ蔵の街散策」など日帰り旅行5コースには、計5,275名のお客さまが参加され、お楽しみいただきました。

晴天に恵まれた決勝大会

02. 多摩カップ

多摩地域におけるアマチュアゴルファーNo.1を決める「多摩カップ2017」を開催しました。決勝大会では、地区大会参加者2,246名の中から勝ち進んだ120名が熱戦を繰り広げました。

たましんのオリジナルキャラクター「HAPIRU」が梅沢富美男氏と共演

03. 「梅沢富美男劇団特別公演」開催

3周年を迎えた「たましんRISURUホール」で「梅沢富美男劇団特別公演」を開催しました。2,062名のお客さまに魅力あふれる舞台をお楽しみいただきました。

04. 「親子で楽しむ宙体験'17 in あきる野・ひのはら」

星空解説を聴く親子

望遠鏡等の光学機器メーカー株式会社ビクセン協力のもと、「親子で楽しむ宙体験'17　in あきる野・ひのはら」を行いました。自然のなかで、川遊び、バーベキュー、星空観察と親子で夏休みの一日を満喫いただきました。

地域とともに魅力・活気にあふれる　まちづくりを目指します。

地域創生

青梅市内にて利活用事例を見学

01. 自治体向け勉強会

「地域未来投資促進法」「PFI事業」などをテーマに、多摩地域の自治体を対象とした勉強会を開催しました。「空き家・空き店舗利活用」をテーマにした勉強会では、先進的な事例について情報を共有したほか、実際に青梅市を訪れて利活用に関するアイデアを学びました。

02. 観光振興の取組支援

参加者が事業者に対して積極的に質問

官民一体となって観光振興に取り組むきっかけを作ることを目的として、情報交換会「Tourism Pitch in TAMA」を2回開催しました。観光関連事業者13社・団体がショートプレゼンテーションを行なった後、行政や観光協会の担当者と意見交換を行いました。

03. 連携協定締結

2018年2月6日に協定書を交わした井澤市長（左）

国分寺市と「地域活性化包括連携協定」を締結しました。産業の活性化に関すること、市民生活の向上に関すること、まちづくりに関することなど、定期的な意見交換を通じて信頼関係を深め、お互いのノウハウ等を活用して連携を図ってまいります。自治体との連携協定締結は12件目となります。

地域情報発信

01. 新春講演会

たましんRISURUホールで、恒例の新春講演会を開催しました。講師には多摩大学学長 寺島実郎氏をお迎えし、「2018年の展望－世界の構造転換－」と題して講演いただき、587名のお客さまにご来場いただきました。

毎年好評いただいている寺島実郎氏の講演

教育機関と連携したまちづくり

盛り上がりを見せるパネルディスカッション

01. 共同シンポジウム

女性が輝き続けられる環境をテーマに「東京経済大学・多摩信用金庫第5回共同シンポジウム」を開催しました。企業、行政、学生等、様々な立場の46名が参加し、活発な意見交換が行われました。

02. 就職交流会

意欲的に企業と交流する学生

中小企業の課題としてニーズが高い「人材確保支援」の一環として、多摩ブルー・グリーン倶楽部会員企業と国立大学法人電気通信大学の学生による就職交流会が開催されました。学生にとっては、近隣にある優良企業を知る機会となり、熱心な意見交換が行われました。

ネットワークの充実

たましんの店舗網がさらに拡大

01. 橋本支店・町田支店グランドオープン

相模原支店内にて移転準備していた橋本支店が2017年12月4日に、多摩センター支店内にて移転準備していた町田支店が2018年3月22日に、それぞれグランドオープンしました。
さらに多くのお客さまの課題を解決できるよう取り組んでまいります。

くらしの安全

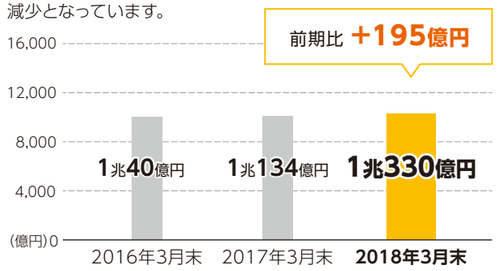
01. 警察署との連携

特殊詐欺に対する「覚書」により、たましん全店は、警察署との連携体制を構築しました。警察・金融機関・百貨店などを名乗り、言葉巧みにキャッシュカードをだまし取り暗証番号を聞き出して、ATMで現金を引き出す「カード詐取被害」が急増しています。高齢のお客さまに対して注意喚起を行う「カード詐取被害防止活動」を2018年2月のシニア・スクエアデー（年金振込感謝デー）にて実施しました。

貸出金残高の推移

貸出金残高は、195億円増加しました

貸出金残高は、前期より195億円増加し、1兆330億円となりました。内訳は、事業性のご融資が239億円の増加、個人のお客さまへのご融資が44億円の減少となっています。

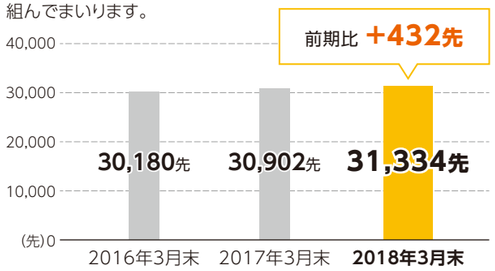


※個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。

事業所融資先数の推移

事業所の課題解決活動に取り組んでいます

融資をご利用いただいている事業所のお客さまの数は31,334先となりました。引き続き地域のお客さまの悩みや課題に応える活動を徹底して取り組んでまいります。



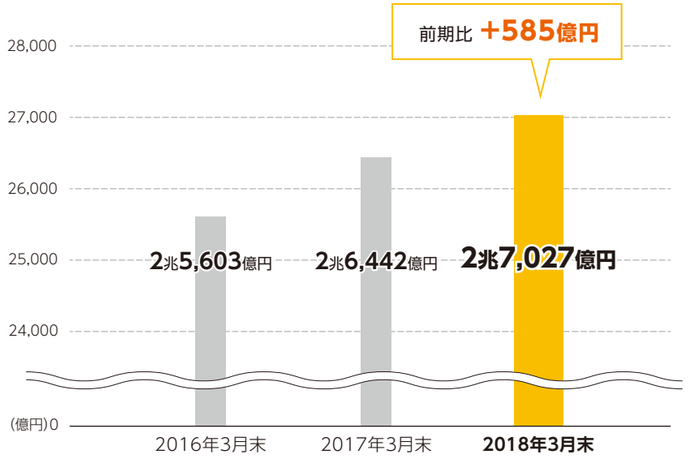
※先数には、総合口座貸越のみのお客さまは含まれていません。

預金積金残高の推移

預金積金残高は、585億円増加しました

預金積金残高は、地域のお客さまからのご支持をいただくことにより、前期より585億円増加し、2兆7,027億円となりました。

今後も地域のお客さまの生活になくてはならない地域金融機関として、安心してお取り引きいただけるサポート体制を築いてまいります。

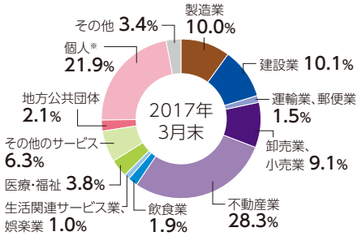


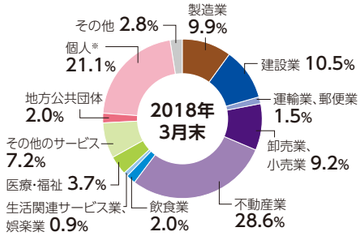
貸出金業種別残高内訳

ご融資は、幅広く、小口多数

たましんは、特定の業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、多くのお客さまの課題を共有し、共に解決していくことで地域のお客さまを支援するという、たましんの基本方針に基づくものです。

●業種別残高内訳(抜粋)





●業種別残高内訳(詳細)

(単位:百万円)

業種区分	2017年3月末 残高	2017年3月末 構成比(%)	2018年3月末 残高	2018年3月末 構成比(%)
製造業	101,406	10.0	102,424	9.9
農業、林業	316	0.0	156	0.0
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	118	0.0	171	0.0
建設業	103,127	10.1	109,469	10.5
電気・ガス・熱供給・水道業	1,075	0.1	1,538	0.1
情報通信業	6,633	0.6	5,113	0.4
運輸業、郵便業	15,466	1.5	16,494	1.5
卸売業、小売業	93,114	9.1	95,389	9.2
金融業、保険業	5,480	0.5	3,315	0.3

業種区分	2017年3月末 残高	2017年3月末 構成比(%)	2018年3月末 残高	2018年3月末 構成比(%)
不動産業	286,857	28.3	296,259	28.6
┣不動産売買業	36,004	3.5	37,634	3.6
┣不動産賃貸・管理業	245,804	24.2	249,692	24.1
┣不動産流動化等を目的とするSPC	—	—	—	—
┗不動産関連地方公社等	5,048	0.4	8,932	0.8
物品賃貸業	1,886	0.1	1,529	0.1
学術研究、専門・技術サービス業	9,571	0.9	9,275	0.8
宿泊業	654	0.0	511	0.0

業種区分	2017年3月末 残高	2017年3月末 構成比(%)	2018年3月末 残高	2018年3月末 構成比(%)
飲食業	19,897	1.9	20,727	2.0
生活関連サービス業、娯楽業	10,837	1.0	9,782	0.9
教育、学習支援業	9,036	0.8	7,896	0.7
医療・福祉	39,518	3.8	38,877	3.7
その他のサービス	64,150	6.3	74,799	7.2
地方公共団体	21,828	2.1	21,240	2.0
個人※	222,491	21.9	218,083	21.1
合 計	1,013,469	100.0	1,033,057	100.0

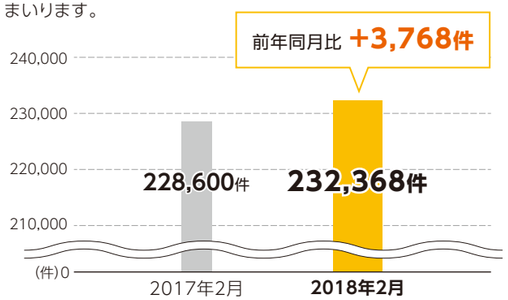
※住宅資金・消費資金等の貸出金は、個人に集計しています。

年金振込件数の比較

年金はたましんへお任せください

年金機能強化法の改正に伴う、受給資格期間の短縮により年金に対するお客さまの関心が高まり、多くのご相談をいただきました。

今後もさまざまな課題・悩みに対するご相談業務を通じて、お客さまから変わらぬご信頼・ご支持をいただけるよう努めてまいります。

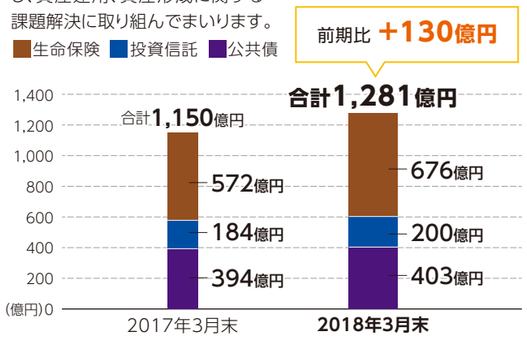


※基金を除く振込実績。

預かり資産残高の推移

預かり資産の残高は、130億円増加しました

預かり資産のご案内にあたっては、法令等を遵守するとともに、お客さまのライフステージ等をふまえ、ニーズに合ったご案内を徹底し、資産運用、資産形成に関する課題解決に取り組んでまいります。



※外貨建て商品は、払込日のTTMレートで円貨換算して算出しています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

損益の状況

収益を地域の未来へ

業務粗利益は、低金利環境の継続などに伴い貸出金利息が減少したこと、安定したポートフォリオを構築するための運用資産の組み換えに伴い、国債等、債券の売却償還損を計上したことなどにより、前期比6.7億円減少しました。

業務純益は、物件費削減の取り組みなどにより経費が前期比5.0億円減少したことから、前期比1.7億円の減少にとどまりました。また、コア業務純益は、前期比4.1億円増加しました。

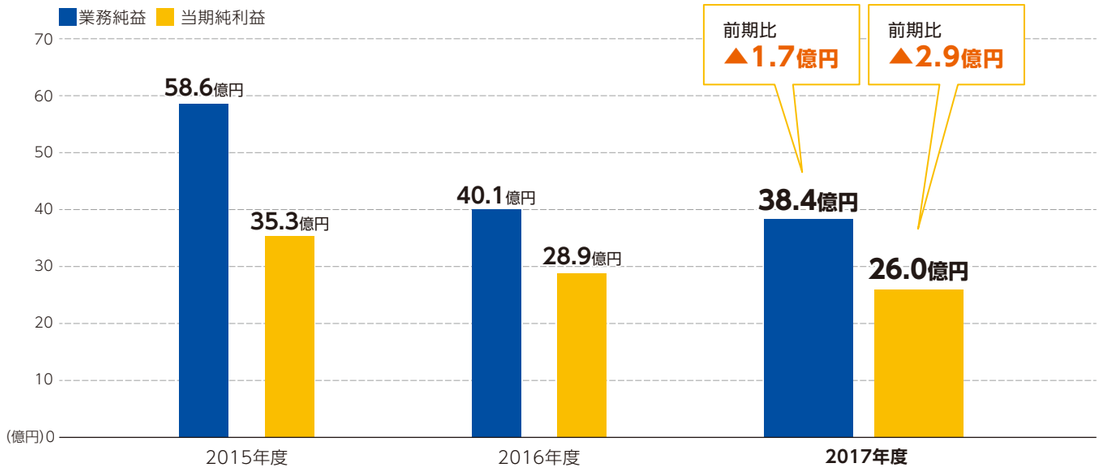
経常利益は、臨時費用の増加などにより、前期比3.9億円減少の37.0億円、当期純利益は前期比2.9億円減少の26.0億円となり、引き続き安定した収益を確保することができました。

(単位:百万円)

科 目	2016年度	2017年度
業務粗利益	32,170	31,497
├うち資金利益	33,088	33,207
├うち役務取引等利益	2,173	2,125
└うちその他業務利益	△ 3,091	△ 3,835
一般貸倒引当金繰入額	△ 68	△ 56
経費	28,219	27,711
業務純益	4,019	3,842
└コア業務純益	4,292	4,709
臨時損益	81	△ 129
└うち個別貸倒引当金繰入額	1,671	1,630
経常利益	4,096	3,705
特別損益	△ 71	△ 94
当期純利益	2,898	2,606

＊本項目における「経費」は、業務純益算出時の「経費」を用いており、18ページ記載の損益計算書における「経費」とは異なります。

●業務純益・当期純利益の推移



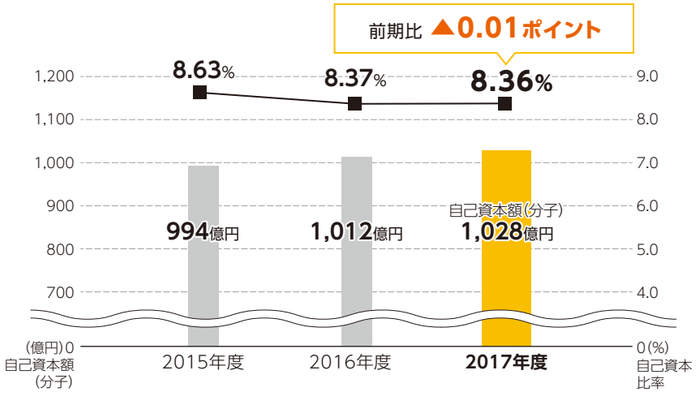
自己資本比率の推移

経営の健全性向上を目指しています

2017年度の自己資本比率については、「自己資本の額」(分子)は当期純利益の内部留保等により前期比15億円増加の1,028億円となりました。

一方、「リスク・アセット等の額」(分母)は、事業性の貸出金や有価証券が増加したことなどにより前期比205億円増加の1兆2,288億円となり、自己資本比率は前期比0.01ポイント低下の8.36%となりました。

たましんは自己資本比率について、比率の高さだけを求めるのではなく、地域で果たす役割を第一と考えており、お客さまへ貢献した結果として得られる適正な利益の内部留保を着実に蓄積していくことで、経営の健全性向上を目指しています。



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(1,028億円)}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額(12,288億円)}} \times 100 = 8.36\%$$

●自己資本の額の内訳

(単位:百万円)

項　目	2017年度	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目の額　(イ)	103,948	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	101,185	
うち、出資金及び資本剰余金の額	23,736	
うち、利益剰余金の額	77,802	
うち、外部流出予定額(△)	352	
うち、上記以外に該当するものの額	△ 0	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,494	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,494	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,268	
コア資本に係る調整項目の額　(ロ)	1,127	
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	1,127	281
前払年金費用の額	—	—
自己資本の額((イ)−(ロ))　(ハ)	102,821	

●資産等の内訳

(単位:百万円)

項　目	資産の額等	信用リスク・アセット等の額
信用リスク・アセットの額の合計額	3,473,031	1,167,262
資産(オン・バランス項目)	2,959,728	1,143,883
現金	29,805	—
政府・中央銀行向け等	980,210	20,930
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	688,762	206,894
法人等向け	440,134	345,183
中小企業等向け及び個人向け	329,281	233,016
抵当権付住宅ローン	78,520	26,875
その他	413,013	310,982
オフ・バランス取引等項目	512,900	21,477
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	—	1,893
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	402	8
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	—	61,599
リスク・アセット等の額の合計額	3,473,031	1,228,861

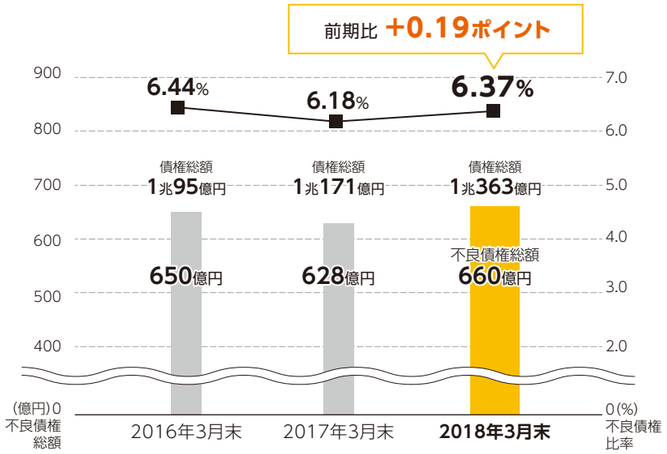
※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

不良債権の推移（金融再生法における開示債権）

不良債権は増加しました

前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することが、たましんの目指す不良債権への取り組みです。お客さまの経営環境が厳しい折にもできる限りの支援を継続しているため、金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は2017年3月末より増加し、660億円となりました。不良債権比率は0.19ポイント増加し6.37%となりました。

※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。

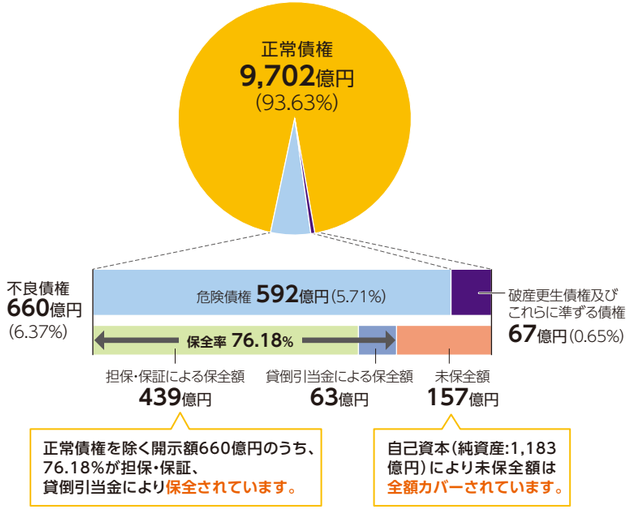


金融再生法開示債権の区分別割合と同債権に対する保全状況

不良債権は、しっかりと保全されています

正常債権を除く開示額660億円のうち、76.18%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの23.81%にあたる157億円は、自己資本（純資産1,183億円）により、全額カバーされています。

※要管理債権はありません。



有価証券の種類別残高内訳と評価差額の推移

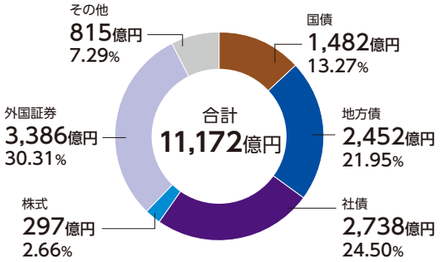
資金運用については安定した運用を心がけています

資金運用については、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資し、安定した運用を心がけています。

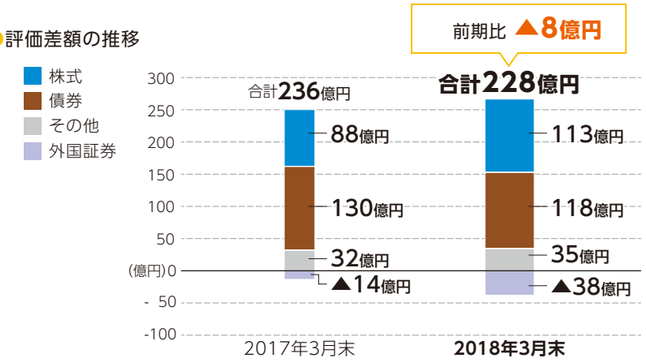
海外金利が上昇したことなどで、保有有価証券の評価益は228億円となりました。

※1 有価証券の種類別残高は2018年3月末における貸借対照表計上額です。（たましんレポート2017年9月期までは取得原価等で表示）
※2 外国証券には、円建外国証券568億円を含んでいます。
※3 右記の「その他」は、投資信託等です。
※4 有価証券の評価差額は、2018年3月末における取得原価等と時価等の差額です。

●種類別残高内訳
（2018年3月末現在）



●評価差額の推移



外国為替取扱高の推移

貿易取引、貿易外取引ともに件数は増加しました

貿易取引については、件数は前期より234件増加の10,336件となり、金額は199千米ドル減少の241,536千米ドルとなりました。また、貿易外取引については、件数は前期より369件増加の7,025件となり、金額は7,720千米ドル減少の107,190千米ドルとなりました。

今後もお客さまの海外事業に関する課題解決に積極的に取り組んでまいります。

●外国為替取扱高

（単位:千米ドル）

科 目	2016年度		2017年度	
	件数	金額	件数	金額
貿易	10,102	241,735	10,336	241,536
├ 輸出	3,091	83,114	3,376	81,649
└ 輸入	7,011	158,621	6,960	159,886
貿易外	6,656	114,910	7,025	107,190
├ 海外送金等	3,729	48,511	4,166	49,479
├ 外貨預金	2,927	66,398	2,859	57,710
└ インパクトローン	0	0	0	0
外貨両替	11,506	6,729	9,818	5,008
合計	28,264	363,375	27,179	353,734
（信用状開設）	39	2,403	27	1,089

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

貸借対照表

第85期 貸借対照表

2018年3月31日現在(単位:百万円)

科目	金額
〈資産の部〉	
現金	29,646
預け金	746,694
買入金銭債権	95
金銭の信託	13,604
商品有価証券	5
商品国債	5
有価証券	1,117,253
国債	148,287
地方債	245,263
社債	273,801
株式	29,729
その他の証券	420,171
貸出金	1,033,057
割引手形	12,099
手形貸付	26,582
証書貸付	982,166
当座貸越	12,208
外国為替	942
外国他店預け	924
買入外国為替	2
取立外国為替	15
その他資産	20,341
未決済為替貸	494
信金中金出資金	11,265
前払費用	16
未収収益	4,443
金融派生商品	2,821
その他の資産	1,300
有形固定資産	31,650
建物	6,306
土地	21,309
リース資産	79
建設仮勘定	253
その他の有形固定資産	3,701
無形固定資産	1,954
ソフトウェア	1,260
リース資産	8
その他の無形固定資産	685
債務保証見返	2,413
貸倒引当金	△ 7,874
(うち個別貸倒引当金)	(△ 6,380)
資産の部合計	2,989,784

科目	金額
〈負債の部〉	
預金積金	2,702,799
当座預金	70,294
普通預金	1,402,825
貯蓄預金	9,441
通知預金	2,780
定期預金	1,120,968
定期積金	77,138
その他の預金	19,351
コールマネー	64,144
債券貸借取引受入担保金	83,557
外国為替	33
売渡外国為替	27
未払外国為替	6
その他負債	10,404
未決済為替借	884
未払費用	678
給付補塡備金	60
未払法人税等	788
前受収益	161
払戻未済金	35
職員預り金	1,002
金融派生商品	238
金融商品等受入担保金	2,881
リース債務	92
資産除去債務	350
その他の負債	3,229
賞与引当金	1,078
退職給付引当金	211
役員退職慰労引当金	439
睡眠預金払戻損失引当金	408
偶発損失引当金	323
繰延税金負債	2,554
再評価に係る繰延税金負債	3,021
債務保証	2,413
負債の部合計	2,871,390
〈純資産の部〉	
出資金	22,970
普通出資金	17,620
その他の出資金	5,350
資本剰余金	766
資本準備金	766
利益剰余金	77,802
利益準備金	22,330
その他利益剰余金	55,472
特別積立金	51,500
当期未処分剰余金	3,972
処分未済持分	△ 0
会員勘定合計	101,538
その他有価証券評価差額金	14,975
繰延ヘッジ損益	205
土地再評価差額金	1,675
評価・換算差額等合計	16,856
純資産の部合計	118,394
負債及び純資産の部合計	2,989,784

注.平成23年12月22日に協同組織金融機関の優先出資に関する法律(平成5年5月12日公布法律第44号)第15条第1項第1号の規程に基づき、発行済優先出資の全額を消却いたしました。優先出資の消却を受け、優先出資金5,350百万円をその他の出資金に振り替えて計上しています。

損益計算書・剰余金処分

第85期 損益計算書

2017年4月1日～2018年3月31日(単位:千円)

科目	金額
経常収益	41,552,266
資金運用収益	34,842,254
貸出金利息	19,131,578
預け金利息	990,635
有価証券利息配当金	14,105,578
金利スワップ受入利息	103,745
その他の受入利息	510,716
役務取引等収益	3,642,826
受入為替手数料	1,844,636
その他の役務収益	1,798,189
その他業務収益	557,011
国債等債券売却益	128,415
国債等債券償還益	13,733
その他の業務収益	414,862
その他経常収益	2,510,175
償却債権取立益	380,156
株式等売却益	1,274,884
金銭の信託運用益	426,084
その他の経常収益	429,048
経常費用	37,846,315
資金調達費用	1,641,418
預金利息	406,520
給付補塡備金繰入額	25,183
借用金利息	35
コールマネー利息	84,160
債券貸借取引支払利息	1,113,408
その他の支払利息	12,109
役務取引等費用	1,517,208
支払為替手数料	709,747
その他の役務費用	807,460
その他業務費用	4,392,607
外国為替売買損	3,261,310
商品有価証券売買損	51
国債等債券売却損	483,095
国債等債券償還損	583,123
その他の業務費用	65,026
経費	27,793,183
人件費	16,685,723
物件費	10,653,474
税金	453,986
その他経常費用	2,501,896
貸倒引当金繰入額	1,573,654
貸出金償却	113,186
株式等売却損	10,634
金銭の信託運用損	3,651
その他資産償却	35,207
その他の経常費用	765,561
経常利益	3,705,951

科目	金額
特別損失	94,498
固定資産処分損	47,839
減損損失	46,659
税引前当期純利益	3,611,452
法人税、住民税及び事業税	1,182,255
法人税等調整額	△ 176,971
法人税等合計	1,005,283
当期純利益	2,606,169
繰越金(当期首残高)	1,218,163
土地再評価差額金取崩額	147,742
当期未処分剰余金	3,972,074

第85期 剰余金処分

2017年4月1日～2018年3月31日(単位:円)

科目	金額
当期未処分剰余金	3,972,074,990
繰越金(期首残高)	1,218,163,667
土地再評価差額金取崩額	147,742,255
当期純利益	2,606,169,068
剰余金処分額	2,622,405,810
利益準備金	270,000,000
普通出資に対する配当金 (年2.0%)	352,405,810
特別積立金	2,000,000,000
繰越金(当期末残高)	1,349,669,180

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

安心してお取り引きいただける態勢を強化しています。

たましんの経営理念は「お客さまの幸せづくり」です。事業を営む方にとっても、個人の方にとっても、多摩地域で一番身近な金融機関でなければならないと考えています。誰もが安心して暮らせる地域をしっかりと支えていけるよう、役職員一人ひとりが、コンプライアンスを実践していきます。

●内部統制方針について

たましんでは、継続的に内部統制システムの整備を進め、その実効性を確保するため「内部統制方針」を定めています。

本方針では、理事会が決定する重要な業務執行について、「理事及び職員の職務の執行が法令等及び定款に適合することを確保するための体制」など整備すべき体制及び事項を明確にしています。また、内部統制管理の充実のため、コンプライアンス統括部署、統合的リスク管理部署、反社会的勢力に対する主管部署、子会社統括管理部署、及び業務運営部門から独立した内部監査部署並びに監事が担う役割についても定めています。

なお、「内部統制方針」に基づき、経営の透明性と客観性を確保するために、非常勤理事を議員とし、理事会・代表理事へ経営に関するアドバイスなどを行う「経営諮問会議」を設置しています。

●内部監査について

内部監査とは、組織体の経営目標の効果的な達成に役立つことを目的として、公正かつ独立の立場で、その組織体における内部統制の主要な目的（業務運営の効率性と有効性、財務諸表の信頼性、法令等および社内規定の遵守状況等）を評価し、その結果に基づいて助言・勧告を行う活動です。

たましんでは、業務運営部門（子会社を含む）から独立した立場の監査室が、理事会により制定された「内部監査方針」に則り、全ての業務運営部門を対象とした内部統制の有効性、業務取扱いの適切性等を計画的に検証し、その結果を検討・評価して理事会へ報告しています。また、関連部署に対しては問題点の改善に向けた助言・提言を行う他、改善状況の確認を行っています。

●コンプライアンス態勢について

コンプライアンス態勢の整備	コンプライアンスの運営態勢
信用金庫は、協同組織の金融機関として、地域の中小企業や個人の皆さまの金融の円滑化を通じて、地域社会の繁栄に奉仕することを基本理念としています。 たましんでは、地域とともに歩む金融機関として、地域のお客さまから真に信頼されるためには、法令や法令に基づく各種ルール及び社会規範を遵守することは当然の責務であるとの認識に立ち、コンプライアンス（法令等遵守）態勢の整備に努めています。	コンプライアンスの運営態勢としては、経営管理室をコンプライアンスを統括する部門として位置付け、法令等遵守の遂行に必要な権限を付与し、営業推進部門等からの独立性を確保し牽制機能を発揮させ、金庫全体のコンプライアンス態勢の整備に努めています。 また、本部各部室及び営業店にはコンプライアンス担当者を配置し、コンプライアンスの徹底に努めています。 2015年度より外部の弁護士、学識経験者を委員とする「コンプライアンス外部評価委員会」を設置し、誠実かつ公正な経営を実践するために、コンプライアンス態勢整備等についてモニタリング・評価、助言・提言を行う態勢としています。
コンプライアンス・マニュアルの周知徹底	**コンプライアンス・プログラムの実施**
企業倫理、行動規範、法令等各種ルールを記載した「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、研修や勉強会資料として活用しています。継続的に趣旨・内容の浸透を図ることにより、職員のコンプライアンス意識の向上に努めています。	年度ごとにコンプライアンスに対する取組計画として「コンプライアンス・プログラム」を策定し、これに基づいてコンプライアンスの定着化を図るための各種研修、及びコンプライアンス環境等の整備を図るための諸施策を実施しています。

●コンプライアンス宣言

当金庫は、お客さまや社会の信頼にお応えするため、信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、高い見識と倫理観をもち、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして企業活動を遂行してまいります。コンプライアンスを礎となす風土を確立するため、役職員総意の下に「コンプライアンス宣言」を策定し、遵守することを宣言いたします。

1 信頼の確保
多摩信用金庫は、公共的使命と社会的責任を十分認識し、健全な業務運営を通じて、地域社会やお客さまから信頼を確保します。

2 誠実で公明正大な企業活動
多摩信用金庫は、法令やルールを厳格に遵守するとともに、社会規範に従い、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

3 地域社会への貢献
多摩信用金庫は、お客さまや地域の課題を共有し、解決することにより地域社会へ貢献します。

4 適切な情報開示の徹底
多摩信用金庫は、経営等の情報を公正かつ適切に開示することにより、透明な経営を実現します。

5 反社会的勢力の排除
多摩信用金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除します。

●個人情報等保護について

たましんは、金融機関としてお客さまの個人情報および個人番号（以下「個人情報等」といいます。）を適切に取り扱うことが重要であると認識し、個人情報等の適切な保護と利用を図るため、個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）を策定し、公表しています。

また、たましんでは、お客さまの個人情報等の適正な取扱いに関する法令その他の規範を遵守しています。さらに、個人情報等の取扱いに関する役職員研修を実施するとともに、遵守状況についての監査を行い、お客さまの個人情報等が漏えいや毀損することを防ぐために万全を期しています。

●理事会

2017年度の理事会は、2017年4月25日を第1回として以後16回開催し、たましんの経営上の重要事項を決定しました。

また、内部管理態勢については、その実効性を高めるための様々な施策を実施しました。

●財務局金融検査・日本銀行考査

2017年10月17日より日本銀行による考査が実施されました。2017年度は、財務局による金融検査は実施されませんでした。

●監事監査

信用金庫法第35条の7において準用する会社法第381条第1項及び信用金庫法第38条の2第3項に基づき監査を行いました。なお、信用金庫法第32条第5項に規定する「員外監事」を選任しています。

また、監事は定期的に監事会を開催し、監査体制の充実を図りました。

●会計監査人監査

信用金庫法第38条の3において準用する会社法第329条第1項により選任した「太陽有限責任監査法人」により、財務全般についての会計監査を受けました。

たましんプロフィール・役員一覧・連結される子会社

●たましんプロフィール

2018年3月末現在

創　　立	1933年12月26日　有限責任立川信用組合として設立 2006年　1月10日　合併により多摩信用金庫	店 舗 数	本支店……79／出張所……4 店外ATMコーナー……58
純 資 産	1,183億円	役職員数	2,246名(パート230名含む)
普通出資金	176億円	職 員 数	2,002名(男性1,129名、女性873名)
本　　店	東京都立川市曙町2丁目8番28号		

●役員一覧

2018年3月末現在

会　　長(代表理事) 佐藤　浩二
理 事 長(代表理事) 八木　敏郎
専務理事(代表理事) 小俣　勝俊
常務理事(代表理事) 福田　博之
常務理事(代表理事) 谷　邦義
常務理事(代表理事) 反町　聡

常勤理事 齊藤　裕之
常勤理事 房　哲雄
常勤理事 前川　秀幸
常勤理事 金井　雅彦
常勤理事 高橋　尚子
常勤理事 辻　伸敏
常勤理事 酒井　伸明

理事 秋本　誠一
理事 岩崎　春伸
理事 関塚　時紀生
理事 猿渡　昌盛

常勤監事 福島　清
監　　事 小沢　伸光
監　　事 井上　寛
監　　事 眞田　幸光
(員外)

監事 眞田幸光は、信用金庫法第32条第5項の監事です。

●連結される子会社

2018年3月末現在

たましんビジネスサービス株式会社

設立／1966年3月24日
所在地／〒190-0022　立川市錦町4-4-4
TEL／042-527-3008　FAX／042-522-7893
資本金／4千万円
当金庫出資比率／100%
子会社出資比率／0%
主な業務内容／
▶各種集中事務処理▶ATMの監視、運用管理▶債権書類管理
▶現金精査、定期的集配金▶メールカーの運行、輸送警備
▶重要書類の回収、保管、廃棄▶各種物販▶コムセンターの管理
▶駐車場、グランド、研修所、倉庫管理
常勤役員／代表取締役　小野　和久
専務取締役　大久保　徹
取　締　役　高橋　裕

たましんリース株式会社

設立／1983年6月15日
所在地／〒190-0012　立川市曙町2-38-5
TEL／042-528-1131　FAX／042-528-1892
資本金／5千万円
当金庫出資比率／76.1%
子会社出資比率／0%
主な業務内容／
▶生産用、医療用、事務用、その他営業用に供する車両、機械、器具、設備などの動産リース
▶割賦及びメンテナンス付オートリース
常勤役員／代表取締役　保坂　正憲
取　締　役　春日　隆志
取　締　役　佐川　暢男

多摩保証株式会社

設立／1985年6月3日
所在地／〒190-0012　立川市曙町2-38-5
TEL／042-524-6311　FAX／042-529-6063
資本金／1千万円
当金庫出資比率／51%
子会社出資比率／49%
主な業務内容／
▶住宅金融に係る信用保証業務及び信用調査業務
常勤役員／代表取締役　関谷　武

店舗ネットワーク

●店舗一覧(83ヵ所)

2018年5月末現在

店舗名		所在地	電話
立　川	本店	立川市曙町2-8-28	042-526-7700
	立川ターミナルビル出張所	立川市曙町2-1-1ルミネ立川B-101	042-527-6911
	南口支店	立川市柴崎町3-5-22	042-528-2211
	東立川支店	立川市羽衣町1-19-6	042-524-0611
	錦町支店	立川市錦町3-6-9	042-528-0511
	栄町支店	立川市栄町2-66-1	042-536-9711
	砂川支店	立川市砂川町4-2-3	042-535-4411
	富士見町支店	立川市富士見町4-9-22	042-528-1741
	幸町支店	立川市幸町1-25-15	042-535-5311
武蔵野	成蹊学園前支店	武蔵野市中町3-29-12	0422-54-3321
	武蔵境南口支店	武蔵野市境南町2-9-3	0422-32-2221
	西出張所	武蔵野市境南町3-15-23	0422-33-2111
	武蔵野支店	武蔵野市西久保1-6-27	0422-54-1211
	吉祥寺支店	武蔵野市吉祥寺本町1-10-5	0422-21-3741
	境支店	武蔵野市境2-11-23	0422-54-1331
三　鷹	三鷹下連雀支店	三鷹市下連雀1-9-15	0422-44-2121
	三鷹駅前支店	三鷹市下連雀3-26-9	0422-47-7385
西東京	田無支店	西東京市田無町4-25-5	042-463-1121
	ひばりが丘支店	西東京市ひばりが丘北3-4-7	042-423-3111
調　布	調布支店	調布市国領町1-9-8	042-482-6121
	調布北口支店	調布市布田1-45-6	042-482-8176
小金井	小金井支店	小金井市本町2-5-4	042-385-1111
	小金井南口支店	小金井市中町4-14-7	042-384-5111
東久留米	東久留米支店	東久留米市本町1-3-1	042-477-2111
国分寺	国分寺支店	国分寺市本町3-11-12	042-321-4141
	西国分寺支店	国分寺市泉町3-17-10	042-326-1511
	国分寺南口支店	国分寺市南町3-19-8	042-322-9111
	恋ヶ窪支店	国分寺市戸倉1-3-4	042-328-3011
小　平	小平支店	小平市小川西町4-14-16	042-341-3131
	学園東支店	小平市学園東町2-12-15	042-345-5511
	一橋学園支店	小平市学園西町2-13-33	042-346-2111
	花小金井支店	小平市花小金井南町1-13-19	042-465-2233
東村山	東村山支店	東村山市野口町1-11-17	042-396-5551
	秋津支店	東村山市秋津町5-35-23	042-395-7221
府　中	府中支店	府中市宮西町1-5-1	042-366-8211
	中河原支店	府中市住吉町5-2-1	042-366-3311
	北府中支店	府中市新町1-65-1	042-367-1311
	北山支店	府中市北山町2-22-7	042-573-4711
	東府中支店	府中市清水が丘3-25-1	042-367-5211
稲　城	稲城矢野口支店	稲城市矢野口220	042-379-3451
多　摩	桜ヶ丘支店	多摩市一ノ宮3-1-5	042-374-2781
	永山支店	多摩市永山1-5 ベルブ永山	042-356-2511
多　摩	多摩センター支店<サクセシア>	多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩4F	042-389-1121
国　立	国立支店	国立市中1-9-52	042-574-1111
東大和	東大和支店	東大和市南街5-65-2	042-564-7111
武蔵村山	村山支店	武蔵村山市学園3-101-1	042-565-9111
	イオンモールむさし村山出張所	武蔵村山市榎1-1-3-1002	042-562-5991
	残堀支店	武蔵村山市残堀1-33-1	042-569-2111
日　野	日野支店	日野市日野本町4-3-6	042-581-7311
	南平支店	日野市南平7-17-72	042-593-2111
	豊田支店	日野市豊田3-41-7	042-586-6111
	豊田北口支店	日野市多摩平2-3-2	042-581-2123
	平山支店	日野市平山5-13-2	042-593-1611
	高幡不動支店	日野市高幡1008-3	042-591-8911
八王子	八王子駅前支店	八王子市子安町4-7-1 サザンスカイタワー八王子1F	042-621-5711
	西八王子支店	八王子市千人町3-2-16	042-664-6611
	宇津木支店	八王子市石川町94-6	042-643-5411
	宇津木台出張所	八王子市久保山町1-10 宇津木台ショッピングプラザ2F	042-696-0411
	京王八王子支店	八王子市明神町2-27-6	042-648-5611
	八王子四谷支店	八王子市大楽寺町509-11	042-621-3721
	中野山王支店	八王子市中野山王1-3-1	042-621-3111
	八王子中央支店	八王子市八日町3-15	042-623-0111
	八木町支店	八王子市八木町4-1	042-623-3311
	高尾支店	八王子市高尾町1608	042-661-3143
	中野支店	八王子市中野上町4-35-17	042-626-5211
	大和田支店	八王子市大和田町5-3-24	042-646-1021
	片倉支店	八王子市片倉町633-3	042-636-8511
	めじろ台支店	八王子市めじろ台3-1-1	042-666-4511
	高倉支店	八王子市高倉町51-22	042-648-6211
	恩方支店	八王子市西寺方町72-1	042-652-1311
	散田支店	八王子市散田町3-9-15	042-666-5311
昭　島	昭島支店	昭島市玉川町4-5-3	042-545-5111
	拝島支店	昭島市松原町4-13-20	042-545-4111
	郷地支店	昭島市郷地町2-32-16	042-546-4111
	昭島駅前支店	昭島市昭和町2-5-15	042-546-4311
福　生	福生支店	福生市本町24	042-553-6111
瑞　穂	瑞穂支店	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎239-2	042-556-4111
羽　村	羽村支店	羽村市五ノ神1-2-6	042-555-3111
あきる野	秋川支店	あきる野市野辺539-1	042-559-3111
	あきる野支店	あきる野市秋川2-10-3	042-550-3111
町田	町田支店	町田市原町田6-23-4	042-726-7881
相模原	相模原支店	相模原市中央区相模原5-10-10	042-756-7111
	橋本支店	相模原市緑区西橋本2-10-4	042-772-7721

●店外ATMコーナー（58ヵ所）

2018年5月末現在

立川	髙島屋立川店内
	立川市役所内
	いなげや幸店前
	いなげや立川栄町店前
	マルエツ武蔵砂川店前
	京王ストア立川店前
	多摩モノレール立川南駅前
	伊勢丹立川店前
	若葉ケヤキモール内
	西国立駅前
	立川北口
	ららぽーと立川立飛内
	立川南口
武蔵野	いなげや武蔵野関前店内
三鷹	コモディイイダ三鷹店向かい
東久留米	QURUNE東久留米店内
小平	ブリヂストン小川東町
	いなげや小平学園西町店前
	西武国分寺線小川駅前
	いなげや小平小川橋店内
東村山	いなげや東村山市役所前店内
府中	ヤマダ電機府中店前
	京王ストア栄町店前
	府中駅南口くるる内
	MINANO分倍河原店内
	いなげや府中浅間町店内
	府中市役所内
国立	オリンピック国立店前
	国立市役所内
	さえき国立店前
国立	フレスポ国立南内
東大和	イトーヨーカドー東大和店内
	BIGBOX東大和店前
武蔵村山	ダイエー武蔵村山店内
日野	スーパーアルプス日野店前
八王子	イトーヨーカドー八王子店内
	スーパーアルプス宇津木台店前
	京王八王子駅前
	京王山田駅前
	西八王子駅構内
	ぐりーんうぉーく多摩内
	ザ・マーケットプレイス八王子内
	京王高尾駅南口
	イーアス高尾内
昭島	昭島市役所内
	いなげや昭島中神店向かい
	昭島駅北口前
	イオン昭島ショッピングセンター内
	エコス拝島店前
	イトーヨーカドー拝島店内
	拝島駅構内
	ヤオコー西武立川駅前店内
瑞穂	ジョイフル本田瑞穂店内
羽村	いなげや羽村富士見平店前
	羽村駅西口
あきる野	いなげやあきる野雨間店前
	あきる野市役所内
日の出	イオンモール日の出内

●たましんすまいるプラザ/相続あんしん館

店舗名		電話	営業時間	休業日
すまいるプラザ 国立 （国立支店2階）		0120-789-440	平 日:午前9時～午後7時	祝日・12/31～1/3
	相続あんしん館 国立	0120-865-223	土・日:午前11時～午後5時	
すまいるプラザ 武蔵村山・保険なっ得館 （イオンモールむさし村山1階ノースコート東入口横）		0120-562-531	午前10時～午後7時	12/31～1/3
	相続あんしん館 武蔵村山	0120-051-008		
すまいるプラザ 立川 （JR立川駅 ルミネ立川地下1階）		0120-667-646	午前10時～午後7時	12/31～1/3・ルミネ立川休業日
	相続あんしん館 立川	0120-211-275		
すまいるプラザ 吉祥寺 （吉祥寺支店2階）		0120-771-313	平 日:午前9時～午後7時	祝日・12/31～1/3
	相続あんしん館 吉祥寺	0120-305-358	土・日:午前10時～午後5時	
すまいるプラザ めじろ台 （めじろ台支店2階）		0120-778-480	平 日:午前9時～午後7時	祝日・12/31～1/3
	相続あんしん館 めじろ台	0120-881-755	土・日:午前11時～午後5時	
すまいるプラザ 八王子 （八王子駅前支店内 サザンスカイタワー八王子1階）		0120-530-711	平 日:午前9時～午後7時	12/31～1/3
	相続あんしん館 八王子	0120-850-665	土・日・祝日:午前10時～午後7時	
すまいるプラザ 多摩センター （多摩センター支店内 京王プラザホテル多摩4階）		0120-112-790	平 日:午前9時～午後7時	祝日・12/31～1/3
	相続あんしん館 多摩センター	0120-061-151	土・日:午前10時～午後5時	
すまいるプラザ 府中 （府中支店1階）		0120-009-246	平 日:午前9時～午後7時	祝日・12/31～1/3
	相続あんしん館 府中	0120-720-733	土・日:午前10時～午後5時	
すまいるセンター （東京建物ファーレ立川ビル1階）		0120-778-289	平 日:午前9時～午後5時	土・日・祝日・12/31～1/3
	相続あんしん館	0120-033-118		

●その他の施設

店舗名		電話	営業時間	休業日
たましんワールドキャッシュセンター （JR立川駅 ルミネ立川9階パスポートセンター前）		042-523-0057	午前10時～午後6時 ※3月・9月・12月の最終営業日は午後4時まで	土・日・祝日・12/31～1/3
たましんインキュベーション施設 ブルームセンター （創業支援施設・京王八王子支店7階）	4階事務局	042-639-1009	午前9時～午後5時30分	土・日・祝日・12/29～1/3
	7階専有スペース		入居者24時間利用可能	入居者365日利用可能
たましん事業支援センター（Winセンター） （本店駐車場隣 ファーレ立川ビル1階）		0120-778-265	午前9時～午後5時	土・日・祝日・12/31～1/3
たましん事業支援プラザ（Winプラザ） （京王プラザホテル多摩3階）		0120-778-265	予約制につきご相談ください	土・日・祝日・12/31～1/3

お客さまの幸せづくり
たましん

たましんレポート 2018
［第85期 業務のご報告］
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
http://www.tamashin.jp
発行:2018年6月

お問い合わせ
［お客さま照会センター］

本誌に関するお問い合わせ、ご意見は
0120-187-329

出資、会員に関するお問い合わせは
0120-077-441

ホームページでも本誌やたましんに関するご意見、お問い合わせを承っています。本誌についてのアンケートを掲載していますので、ホームページから「たましんレポート」で検索してください。多くの皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。

RISURU ©2003, 2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G590558

UD FONT

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022784